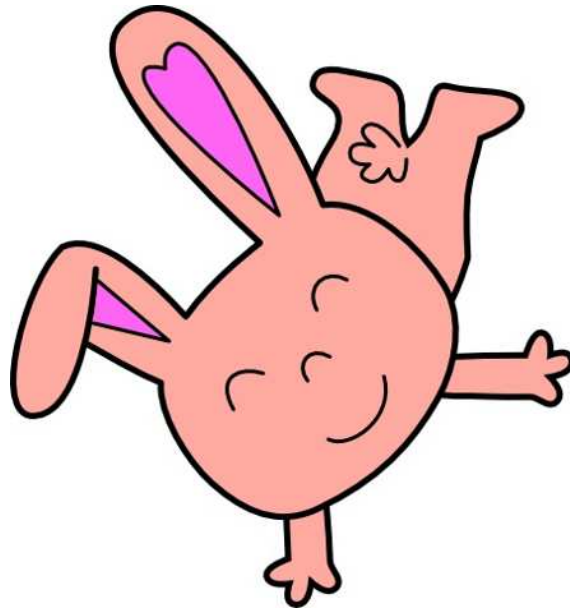



足立区子育てサロン整備計画



子育てサロンのマスコット・キャラクター

さ る び ょ ん

令和2年2月

 足立区地域のちから推進部住区推進課

目 次

1	事業の概要	1
2	事業の現状	1
3	今後の課題	2
4	子育てサロンの利用拡大に向けて	4
5	地域別の整備計画	10

1 事業の概要

子育てサロン事業は、乳幼児とその保護者が安心して自由に遊ぶだけでなく、利用者同士の交流やスタッフへの相談を行うことなどを通じて、子育てに伴う不安や負担の軽減と育児の孤立防止を図るなど、健全な子育てを応援する目的で実施しています。

2 事業の現状

【子育てサロンの利用状況】

区 分		平成 2 8 年度	平成 2 9 年度	平成 3 0 年度	
利用者総数		415,758 人	396,504 人	435,124 人	
参 考 数 値	新規利用者数	15,876 人	14,126 人	21,926 人	
	低年齢児の 利用数	単独型 0～1歳 (商業施設等内含む)	41,895 人 (利用者全体の 55.4%)	45,300 人 (利用者全体の 55.6%)	57,960 人 (利用者全体の 56.2%)
		児童館 0～3歳	113,705 人	99,370 人	95,145 人
	土・日の利 用数	全体に占める割合 (土日開設単独サロンのみ)	41.9%	43.0%	44.8%
		男性の利用率 (土日開設単独サロンのみ)	35.8% (11,301 人)	36.5% (13,461 人)	38.3% (19,100 人)
	プレママ・プレパパ利用 (単独サロンのみ)		-	75 人	59 人
相談件数		17,753 件	19,813 件	23,957 件	

(1) 利用者層が広がり、子育てサロンへのニーズが多様化

ア 育児家庭の状況の変化

利用者の中には、育児休業中や保育園等の待機中の方も多くおられます。

平成30年度に実施した「足立区子ども・子育て支援に関するニーズ調査」(以下「ニーズ調査」という)によると、母親が就労していない家庭の利用は減少していますが(35.2% 前回・平成25年度のニーズ調査から14.3ポイント減)、育児休業中等の人は増加しています(14.6%と前回調査から3.6ポイント増)。母親が就労していない家庭と育児休業中の家庭を合わせると、乳幼児を持つ家庭の約半数が、日中は家庭で養育していることから、子育てサロンのニーズは高いと考えられます。

イ 父親等の利用増

土・日曜日に開室している単独型子育てサロンでは、土・日曜日の利用率とともに父親等の利用も増加しています。

- 2 事業の現状
- 3 今後の課題

ウ プレママ・プレパパの利用

妊娠期からママ友・パパ友や相談できる場所を作ること、子育ての不安の軽減や孤立の防止ができるよう、平成29年度から単独型子育てサロンではプレママ・プレパパの受入れを始めましたが、利用数は伸びていません。

エ 相談件数の増加

相談や情報収集の場として利用している人は44%となっています（ニーズ調査）。子育てサロンでの相談件数も、年々増加しています。

オ 0、1歳児の利用の増加

子育てサロンでは、0、1歳児の利用が多く、ニーズ調査でも、0歳で、新たに利用したい人と既に利用している人は65.7%と、低年齢の利用ニーズが多くなっています。

（2）利用していない人や、子育てに不安を感じている人が多い

ア 子育てサロンを利用していない

ニーズ調査では、子育てサロンを利用していない人は、0歳では64.8%、0～3歳では77.4%となっています。理由としては「保育園などに預けているから」が58.8%と最多ですが、0歳では「知らない人と会うことに抵抗があるから」と答えた人も18.3%（全体では11.1%）います。

イ 子育てに不安を抱えている

妊娠届時のアンケートでは、困ったときに助けがない人（平成29年度から0.6ポイント増）や、居住6か月未満の人（平成29年度から0.6ポイント増）、サポートが得られない人（平成29年度から1.9ポイント増）など、子育てに不安を感じている人や、子育てを負担に感じたりイライラしたりする人も年々増えています（平成28年度5.5%、平成29年度5.7%、平成30年度5.8%）。

3 今後の課題

（1）幅広い利用者層に対応していく必要がある

ア 各子育てサロンの役割の明確化

育児家庭の状況が多様化しており、それぞれのニーズに合わせた子育てサロンの設置が必要になっていますが、現在は各サロンの役割があいまい（相談体制の充実度やイベント等の実施状況など）で、利用者にもわかりにくいいため、明確化していく必要があります。

イ 土・日曜日の開室

一部の子育てサロンは、施設管理面から平日のみ開室しています。父親や平日働いている保護者等のニーズに対応するためにも、土・日曜日の開室を増やし、需要に応じていく必要があります。

ウ イベント等の実施日程

プレママは、出産休暇までは働いている人も多いため、利用するきっかけとなるイベント等は、場所や日程、時間帯を工夫して実施する必要があります。

エ 相談体制の充実

特に家庭で養育している人に対しては、適切な情報の提供と気軽に相談できる機能が必要です。メディア等で様々な情報が多く飛び交っている今の時代だからこそ、子育てについての不安の解消や正しい知識が得られる「専門知識を持っている人がいるところ」が必要とされています。

オ 0、1歳児が利用しやすい環境整備

子育てサロンを利用する目的として「同じくらいの年齢の子と遊ばせたい」という人が多く（平成30年度利用者アンケートで40%）、特に0、1歳の低年齢の利用希望が多いことから、親経験の短い人にも対応できる専門スタッフの配置が重要です。また、はいはいコーナーや授乳コーナーなど、環境整備も必要です。

（2）利用していない人の利用を促進する必要がある

ア 子育てサロンを利用していない人への対応

子育てをしている人の中には、スタッフや他の利用者との関わりを望んでいない人、子育てについての悩みや不安を抱えているが相談につながらない人、大人同士の会話を求めている人も少なくありません。スタッフは利用者の状態を見極め、その人に合った対応をとる必要があります。

イ 子育ての不安や悩みの軽減につなげる

子育てサロン千住大橋の利用のきっかけについて、利用者アンケートで「通りがかり」と答えた人は、2年連続約40%となっています。商業施設内の子育てサロンでは、子育てサロンを知らない人が偶然に知って、利用するうちに子育ての問題に気づいたり、子育ての正しい情報を得たりする人も多く見られます。このような「気軽に立ち寄れ」、自分自身の子育ての問題等に「気づける場」の整備が必要です。

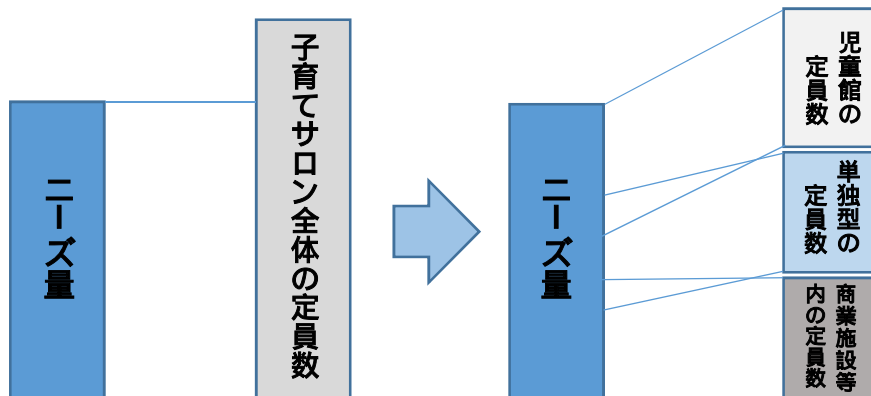
4 子育てサロンの利用拡大に向けて

「第2期足立区子ども・子育て支援事業計画（令和2～6年度）」では、子育てサロンの定員数がニーズ量を上回っているため、施設数を確保できているとしました。

しかし、あくまでも数字上のことであって、地域偏在是正の検討や子育てサロンの3タイプ（「商業施設等内」「単独型」「児童館」）それぞれの役割分担の明確化などについては考慮していませんでした。

これまでは、単独型子育てサロン（12か所）、児童館子育てサロン（52か所）について、同一のサービスが提供できるように努めてきましたが、平成30年度から単独型子育てサロンについては、プロポーザル方式による事業者選定を開始し、質の向上を図りました。さらに、同年には商業施設内に子育てサロンを開設し、商業施設内ならではの「立ち寄りやすさ」により利用者拡大効果もあらわれ始めています。

今後は、幅広い利用者層に対応するため、子育てサロンを3タイプに分けて機能分担をはかったうえで、各々をバランスよく配置し、パンフレットやあだち子育てガイドブック等を通して、利用者に浸透を図っていきます。



「第2期足立区子ども・子育て支援事業計画」

「足立区子育てサロン整備計画」

【左】「第2期足立区子ども・子育て支援事業計画」は、数字上は定員数がニーズ量を上回っていますが、【右】「足立区子育てサロン整備計画」は、利用者アンケートでは、現在でも利用者は状況に応じて複数タイプの子育てサロンを利用しており、今後は3つのタイプ別サロンを設置し、利用者に使い分けってもらう方針であることから、十分な定員数を確保する必要があります。

(1) 子育てサロン再構築の構図

子育てサロンそれぞれの特色を活かし、機能別に「商業施設等内の子育てサロン」「単独型子育てサロン」「児童館子育てサロン」の3タイプに分けて、役割を明確化し、利用者の状況に合った子育てサロンの選択を可能にします。

【子育てサロンの3タイプの概要】

商業施設等内の子育てサロン 「立ち寄りやすさ」

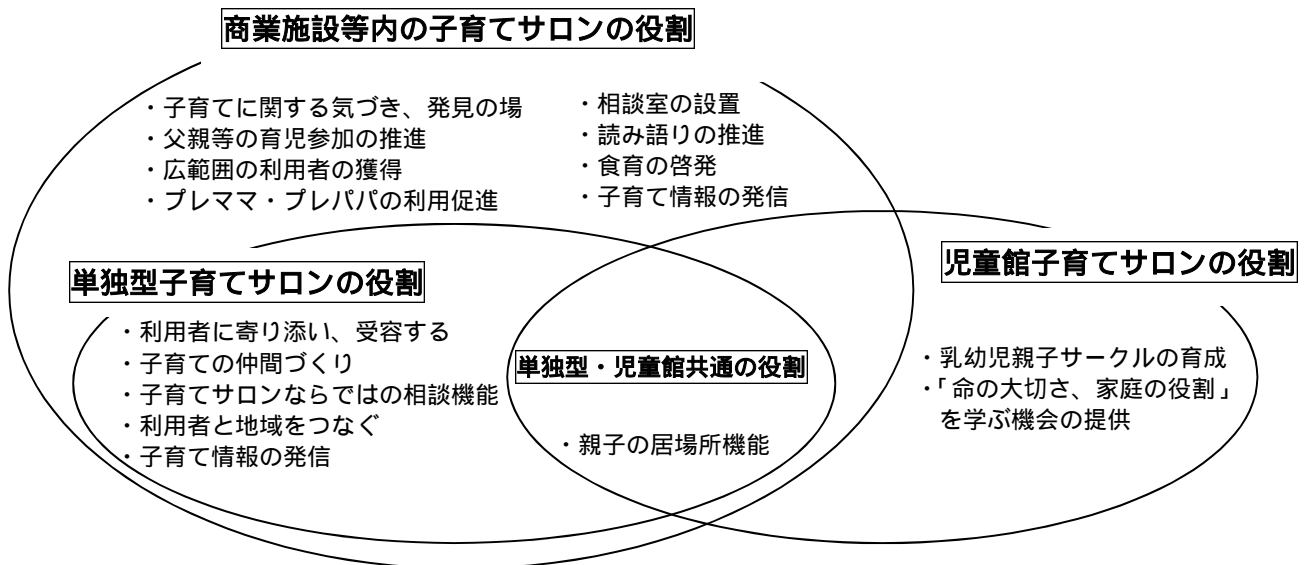
駅近や商業施設等に、広範囲の利用者層を対象として、誰でも気軽に利用しやすい子育てサロンを設置します。

単独型子育てサロン 「寄り添い」

千住、綾瀬・佐野、梅田・中央本町、竹の塚・六町、江北・鹿浜・舎人、新田の6地域に分け、1地域2～4か所を設置し、子育てに関する知識を持ったスタッフを配置して相談体制を充実させていきます。

児童館子育てサロン 「居場所」

お住まいの近くにある児童館子育てサロンに、気兼ねなく過ごせる居場所としての役割を持たせます。



(2) 商業施設等内の子育てサロンの機能と役割

ア 機能

(ア) 子育てサロン周知の担い手

様々な人が利用する施設内にあるので、乳幼児を抱える世帯だけでなく、利用対象以外の人にも子育てサロンを知ってもらうことができ、必要な人に対して情報が伝わりやすくなります。

(イ) 開設時間外の有効活用

子育てサロンの閉室後、商業施設が営業している夜間等の時間帯に、講座等の有効活用が可能です。

(ウ) 他店舗との連携

商業施設内の店舗との連携イベント等を実施します。

イ 役割

(ア) 子育てに関する気づき、発見の場

西新井アリオやポンテポルタ千住等の商業施設では、乳幼児親子が来館者全体の約4割を占めています。子育てサロン千住大橋の実例から、買い物中に思いがけず子育てサロンの存在を知り、利用する人も少なくありません。そのため、子育てについて、日頃自分たちの気づかない課題の発見、専門スタッフとの相談や子育て情報の収集など、子育てについて再認識できる場としていきます。

(イ) 父親等の育児参加の推進

土・日曜日等に開室することにより、父親や家族ぐるみの利用が多くなり、それが平日にも波及していきます。

また、室内を広くしてコーナーを作ることにより居場所を分散し、父親等の利用促進につなげます。

(ウ) 広範囲の利用者の獲得

交通の利便も良く、駐車場を併設しているため、遠距離、広範囲、家族ぐるみの利用が可能となります。

(エ) プレママ・プレパパの利用促進

妊娠中でも働いているプレママは多く、平日だけではなく土・日曜日も開室している商業施設内の子育てサロンは利用しやすいため、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援体制が構築できます。

(オ) 相談室の設置

妊産婦や乳幼児を抱えた母親等の相談に的確に対応するため、助産師や保健師を周期的に配置して相談できる環境を作ります。

また、保育園等の預け先も気軽に相談できるように、保育コンシェルジュの定期的な配置を行います。

(カ) 読み語りの推進

子育てサロン内の絵本コーナーを充実させて、読み語りや絵本の選書相談の機能を持たせます。

(キ) 食育の啓発

施設内の設備を利用して離乳食、乳幼児食、キャラ弁等の作り方の講座を実施したり、飲食店等と連携したりするなど、食育を意識した事業を実施します。

(ク) 子育て情報等の発信

親向けの講座やイベントを実施し、子育て情報を発信していきます。さらに、子育てサロンが開室している時間帯以外の商業施設が営業している夜間を利用して講座等を開催し、働いている保護者に向けても発信していきます。

(3) 単独型子育てサロンの機能と役割**ア 機能**

有資格者（足立区子育てホームサポーターの認定を受けた者、保育士又は幼稚園教諭の有資格者、東京都子育て支援員研修の地域子育て支援コース修了者のいずれか）を常時2名以上配置し、利用者のニーズに合わせた対応を行っていきます。

イ 役割**(ア) 利用者に寄り添い、受容する**

何を目的に子育てサロンを利用しているのか、利用者の状況を見極め、「見守る」「話を聴く」「ともに考える」「助言する」等をとおして、利用者との親近感や信頼感を構築していく。

(イ) 子育ての仲間づくり

子育てサロンデビューのサポートや、利用者同士がつながる機会を設け、仲間づくりを支援して子育ての孤立を防止します。

(ウ) 子育てサロンならではの相談体制

スタッフが、積極的に利用者に関わることで、日常会話から相談事に発展する場合も少なくありません。利用者同士の交流支援や簡単な子育て相談に応じ、必要に応じて専門機関へつないでいきます。

(エ) 利用者と地域をつなぐ

地域のイベント情報を提供し、地域の人たちと関わることで、地域と利用者が繋がり、地域の豊かな環境の中で支えられて育児をすることができます。

(オ) 子育て情報の発信

子育てに関する講座を開催し、正しい子育て情報を提供することにより、保護者の子育てに取り組む意識や自信を高めていくことができます。

(4) 児童館子育てサロンの機能と役割

ア 機能

児童館内の子育てサロンなので、身近な地域で、長く(0歳から18歳まで)継続して利用することができる。そのため、保護者も子どもも住んでいる地域との関わりを築くことができる。

イ 役割

(ア) 親子の居場所

保護者と子どもが気軽に訪れ、気兼ねなく過ごせる居場所を提供し、引きこもり育児を防ぎます。

(イ) 乳幼児親子サークルの育成

親子活動を通して、顔見知りを増やし、仲間づくりにつなげていきます。
乳幼児親子活動から自主グループ(乳幼児サークル)に発展できるように支援し、地域の子育て支援活動の担い手の萌芽づくりを図ります。

(ウ)「命の大切さ、家庭の役割」を学ぶ機会の提供

赤ちゃんふれあい事業を通して、小学校高学年や中・高生に乳幼児親子と交流する機会を設定し、貴重な予備体験を通して将来の育児不安を原因とする虐待を予防していきます。

【3タイプの特徴（一覧）】

	商業施設等内の子育てサロン	単独型子育てサロン	児童館子育てサロン
	<ul style="list-style-type: none"> ・商業施設等内で、利便性も良く、広域から多くの人が利用する。 ・父親や家族ぐるみで利用しやすい。 ・広範囲・新規の利用が多い。 <p style="text-align: center;">来やすさ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各地域に拠点的にある。 ・専門スタッフがあり、話し相手や相談相手、ママ・パパ友づくりの介添えも行う。 ・同年齢の子と遊ばせやすい。 ・常連利用になりやすい。 <p style="text-align: center;">寄り添い</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・居住している身近な地域にある。 ・地域の子の常連利用が多い。 <p style="text-align: center;">身近</p>
対象	<ul style="list-style-type: none"> ・相談したくても、行きにくいと感じている。 ・子育てについての問題に気づけていない。 ・実際には子育てサロンの役割を必要としているが、必要性に気づいていない、若しくはサロンの存在を知らない。 <p style="text-align: center;">発見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てについての問題を自覚している。 ・子育てについて、悩みや相談事を解決したい。 ・大人同士の会話の相手や、子育ての仲間が欲しい。 ・スタッフに関わってほしい。 ・子育ての情報がほしい。 <p style="text-align: center;">解決</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・居場所を求めている。 ・スタッフとの関わりはゆるやかでよい。 ・ママ友同士で集まりたい。 ・広いスペースで子どもを遊ばせたい。 <p style="text-align: center;">自立</p>
スタッフ	<ul style="list-style-type: none"> ・リスクや問題を発見し、各々に合わせ対応していく。 ・単独型や児童館につなぐ。 ・子育て情報を提供する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・何を求めている利用なのかを見極めて、利用者に寄り添った相談や対応を行う。 ・問題が解決したら、身近な児童館につなぐ。 ・子育て情報を提供する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・居場所を提供する。 ・相談や対応を求められたときに応じる。 ・必要な支援に応じて、単独型や商業施設等内の子育てサロンにつなぐ。
	<ul style="list-style-type: none"> ・有資格者が常時2名以上配置 ・専門的な相談に応じられる専門職の配置も行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・有資格者が常時2名以上配置 	<ul style="list-style-type: none"> ・資格問わず1名程度の配置
主な事業	<ul style="list-style-type: none"> ・父親の育児参加の促進 ・プレママ・プレパパの受入れ ・子育て啓発イベント ・他店舗等との連携イベント ・保護者向けの講座等は子育てサロン閉室後も実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・父親の育児参加の促進 ・プレママ・プレパパの受入れ ・子育て啓発イベント 	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児親子向け事業 ・中高生と赤ちゃんのふれあい事業

5 地域別の整備計画

本計画では、「第2期足立区子ども・子育て支援事業計画」に準じ、区内を千住、綾瀬・佐野、梅田・中央本町、竹の塚・六町、江北・鹿浜・舎人、新田の6地域に分け（下図参照）商業施設等内の子育てサロン・単独型子育てサロン・児童館子育てサロンを整備していきます。各地域別の計画では、エリアデザイン等のまちづくり計画に連動させていくため、設置計画が明確になっているもののみを「年度中整備」欄に記載しました。

量の見込み（今後のニーズ量）については、区が平成30年度に実施したニーズ調査の結果を記載しています。

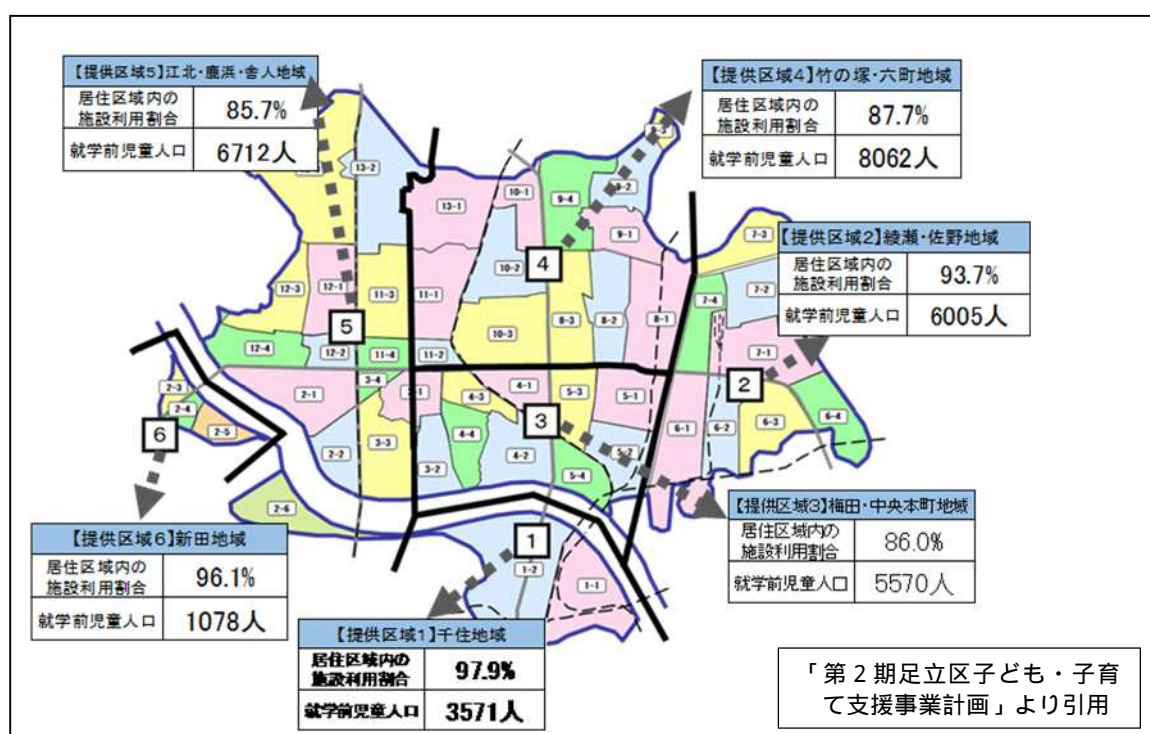
【区全域】（第2期足立区子ども・子育て支援事業計画）

単位：人回/年

（区全域）	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
子育てサロン数	65	65	65	65	65
量の見込み(A)	285,763	277,388	270,862	265,575	261,758
確保方策(年度当初定員)(B)	469,057	469,057	469,057	475,439	475,439
過不足(C) = (B) - (A)	183,294	191,669	198,195	209,864	213,681

（区全域）	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
年度中整備	0	0	6,382	0	0

子育てサロン上沼田が(仮称)江北健康づくりセンター内に移転し、土・日曜日も開室するため。



<地域別・タイプ別 整備計画（令和2～6年度） くわしくは、12～24頁>

	商業施設等内 子育てサロン	単 独 型 子育てサロン	児 童 館 子育てサロン
（提供区域1） 千住地域	子育てサロン千住大橋 新設（北千住駅周辺）	子育てサロン千住 新設（北千住駅東口側）	千住あずま、千住河原町、千住柳町、千住本町（4）
（提供区域2） 綾瀬・佐野地域	子育てサロン綾瀬を 移転（綾瀬駅周辺） 移転	子育てサロンおおやた 新設（北綾瀬駅周辺） ・子育てサロン綾瀬	東和、綾瀬、東綾瀬、長門、大谷田、大谷田谷中、加平、佐野、神明、六木（10）
（提供区域3） 梅田・中央本町 地域	新設（西新井駅周辺）	子育てサロン関原を 移転	青井、栗島、五反野、弘道、中央本町、梅島、西新井栄町、梅田、興本、本木関原（10）
（提供区域4） 竹の塚・六町地 域	子育てサロン竹の塚を 移転（竹の塚駅周辺） 移転	子育てサロン東保木間 子育てサロン西新井 子育てサロン六月 ・子育てサロン竹の塚	湊江、湊江分館、東伊興、東伊興分館、竹の塚六月、栗原北、伊興、平野、島根、南花畑、花保、花畑、桜花、桜花分館、保塚（15）
（提供区域5） 江北・鹿浜・舎人 地域		子育てサロン北鹿浜 子育てサロン上沼田を 移転（江北）	江南、入谷、鹿浜いきいき館、舎人、西伊興、加賀、押皿谷、西新井、西新井本町、江北、扇、鹿浜（12）
（提供区域6） 新田地域		子育てサロン新田 子育てサロンハートアイランド新田（令和2年4月開設）	新田（1）

<参考>

	商業施設等内 子育てサロン	単 独 型 子育てサロン	児 童 館 子育てサロン
令和2年4月1日現在の子育てサロン数	1か所	12か所	52か所
整備後の子育てサロン数	5か所 （新設2か所増、単独型からタイプ別を変更2か所増）	12か所 新設2か所増、商業施設内へタイプ別を変更2か所減）	52か所

(1) 千住地域（提供区域1）

ア 平成30年度の施設数と利用実績

（千住地域）		施設数	延べ利用人数
子育てサロン		6 箇所	79,486 人回/年
内訳	商業施設等内	1 箇所	48,660 人回/年
	単 独 型	1 箇所	9,552 人回/年
	児 童 館	4 箇所	21,274 人回/年

イ 今後の整備計画

（千住地域）		令和2年の施設数	整備後の施設数
子育てサロン		6 箇所	8 箇所（+2）
内訳	商業施設等内	1 箇所	2 箇所（+1）
	単 独 型	1 箇所	2 箇所（+1）
	児 童 館	4 箇所	4 箇所（±0）

(ア) 商業施設等内の子育てサロンの整備計画

設置場所	備考
北千住駅周辺 【新設を検討】	<ul style="list-style-type: none"> 千住地域の方だけではなく、全区から人が集まっているため、商業施設等内の子育てサロンを増設していく。 北千住マルイやルミネ北千住は日中も乳幼児親子の来店者が多い。
ポンテポルタ千住内 【現存・子育てサロン千住大橋】	<ul style="list-style-type: none"> 千住大橋地域では、子育てサロン利用世帯はピークを過ぎているが、今後新たなマンション建設が予想される。 千住大橋については、契約期間（5年）終了前に、地域の開発状況も踏まえて更新の可否を検討する。

(イ) 単独型子育てサロンの整備計画

設置場所	備考
千住庁舎内 【現存・子育てサロン千住】	<ul style="list-style-type: none"> 利用者アンケートによると、千住地域については、商業施設等内の子育てサロンと単独型子育てサロンの役割分担が、利用者に浸透しており、単独型には、スタッフと関わることを望む利用者が他のサロンよりも多い。 千住東側地域の乳幼児を抱えた世帯が増えていることから、千住地域（北千住駅東口側）に単独型子育てサロンの増設が必要である。


<参考 / 第2期足立区子ども・子育て支援事業計画>


単位：人回/年


(千住地域)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
子育てサロン数	6	6	6	6	6
量の見込み(A)	62,939	60,990	59,612	59,040	58,570
確保方策(年度当初定員)(B)	64,834	64,834	64,834	64,834	64,834
過不足(C) = (B) - (A)	1,895	3,844	5,222	5,794	6,264

<配置計画図>



 は、商業施設等内の子育てサロン

 は、単独型子育てサロン

 は、児童館子育てサロン

(2) 綾瀬・佐野地域(提供区域2)

ア 平成30年度の施設数と利用実績

(綾瀬・佐野地域)		施設数	延べ利用人数
子育てサロン		12か所	64,416人回/年
内訳	単独型	2か所	17,889人回/年
	児童館	10か所	46,527人回/年

イ 今後の整備計画

(綾瀬・佐野地域)		令和2年の施設数	整備後の施設数
子育てサロン		12か所	13か所(+1)
内訳	商業施設等内	-	1か所(+1)
	単独型	2か所	2か所(±0)
	児童館	10か所	10か所(±0)

(ア) 商業施設等内の子育てサロンの整備計画

設置場所	備考
綾瀬駅周辺 【子育てサロン綾瀬の移転を検討】	<ul style="list-style-type: none"> ・現在住区センター内に設置しているが、狭小である。そのため、利用者数の減少や、パパたちにとってママたちの輪の中に入りにくい、授乳時に目のやり場が困るなどの理由により、「利用しにくい」との声が多く聞かれる。 ・地域の基幹的な役割を果たす機能も含めて、商業施設等内への移転を検討する。

(イ) 単独型子育てサロンの整備計画

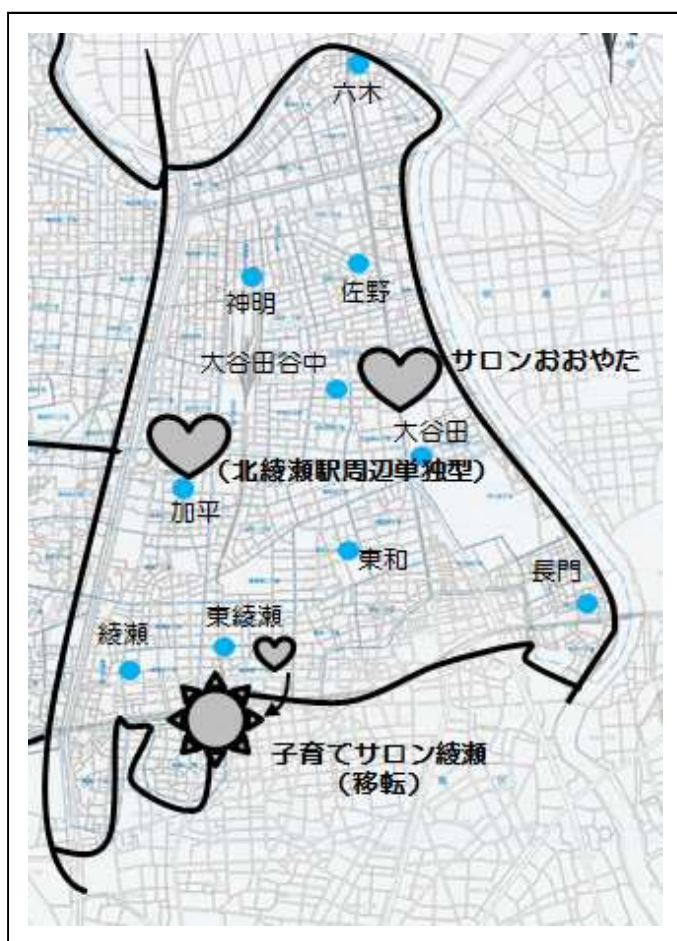
設置場所	備考
中川東小内 【現存・子育てサロンおおやた】	<ul style="list-style-type: none"> ・こども園と同じ敷地だが、乳幼児を抱える親には学校内に入る馴染みがなく、校門のセキュリティや、子育てサロン室へのアプローチの点からも敷居が高い。 ・将来的に、近隣の東部保健センターが移転する場合は、移転先も踏まえて、この中に入れるか検討していく。
北綾瀬駅周辺 【新設を検討】	<ul style="list-style-type: none"> ・北綾瀬駅周辺の開発に伴い、今後さらにマンションの急増が予想される。人口の推移を考慮しながら、駅周辺に期間を限定した子育てサロンの設置を検討する。




<参考 / 第2期足立区子ども・子育て支援事業計画>

単位：人回/年

(綾瀬・佐野地域)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
子育てサロン数	12	12	12	12	12
量の見込み(A)	55,042	53,492	52,364	51,175	50,257
確保方策(年度当初定員)(B)	61,234	61,234	61,234	61,234	61,234
過不足(C) = (B) - (A)	6,192	7,742	8,870	10,059	10,977

<配置計画図>



-  は、商業施設等内の子育てサロン
-  は、単独型子育てサロン
-  は、児童館子育てサロン

(3) 梅田・中央本町地域(提供区域3)

ア 平成30年度の施設数と利用実績

(梅田・中央本町地域)		施設数	延べ利用人数
子育てサロン		11か所	49,254人回/年
内訳	単独型	1か所	7,321人回/年
	児童館	10か所	41,933人回/年

イ 今後の整備計画

(梅田・中央本町地域)		令和2年の施設数	整備後の施設数
子育てサロン		11か所	12か所(+1)
内訳	商業施設等内	-	1か所(+1)
	単独型	1か所	1か所(±0)
	児童館	10か所	10か所(±0)

(ア) 商業施設等内の子育てサロンの整備計画

設置場所	備考
西新井駅周辺 【新設を検討】	・駅付近は商業施設が多く、交通の便も良い立地であるため、広範囲の利用者が予測できる。そのため、商業施設等内の子育てサロンを設置していく。

(イ) 単独型子育てサロンの整備計画

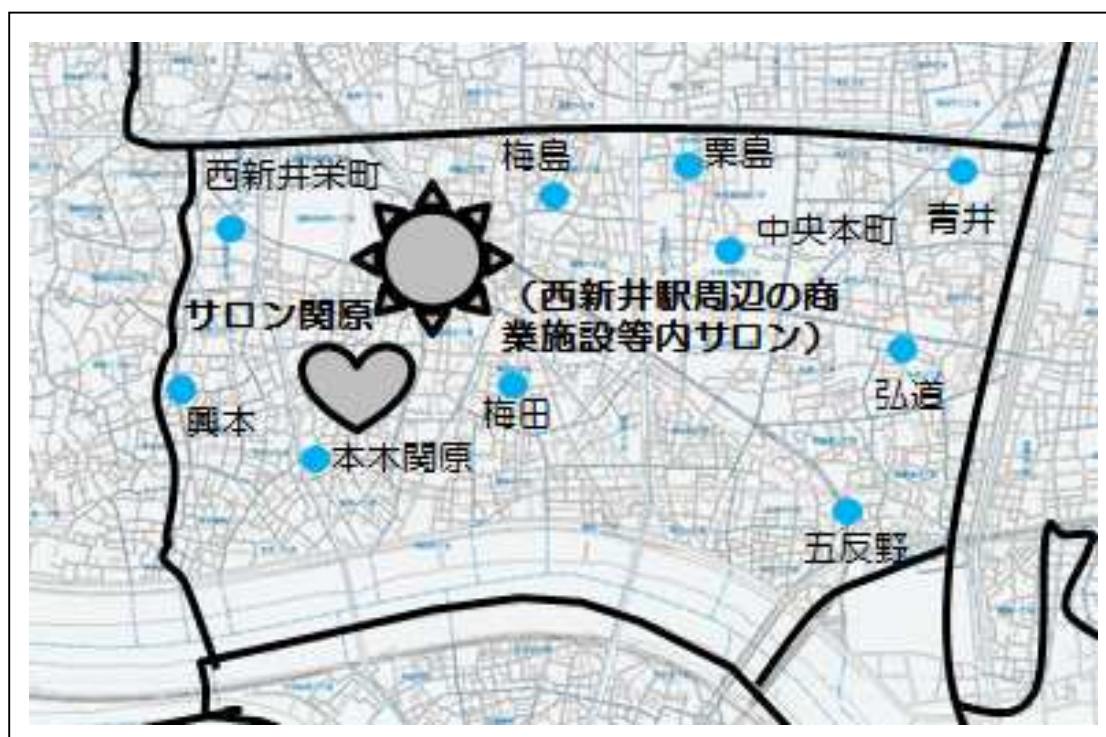
設置場所	備考
梅田地域 【子育てサロン関原の移転を検討】	・現施設老朽化のため、将来的に移転を検討する。


<参考 / 第2期足立区子ども・子育て支援事業計画>


単位：人回/年


(梅田・中央本町地域)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
子育てサロン数	11	11	11	11	11
量の見込み(A)	46,141	44,909	43,756	42,873	42,201
確保方策(年度当初定員)(B)	76,700	76,700	76,700	76,700	76,700
過不足(C) = (B) - (A)	30,559	31,791	32,944	33,827	34,499

<配置計画図>



 は、商業施設等内の子育てサロン

 は、単独型子育てサロン

 は、児童館子育てサロン

(4) 竹の塚・六町地域(提供区域4)

ア 平成30年度の施設数と利用実績

(竹の塚・六町地域)		施設数	延べ利用人数
子育てサロン		19か所	167,108人回/年
内訳	単独型	4か所	110,612人回/年
	児童館	15か所	56,496人回/年

イ 今後の整備計画

(竹の塚・六町地域)		令和2年の施設数	整備後の施設数
子育てサロン		19か所	19か所(±0)
内訳	商業施設等内	-	1か所(+1)
	単独型	4か所	3か所(-1)
	児童館	15か所	15か所(±0)

(ア) 商業施設等内の子育てサロンの整備計画

設置場所	備考
竹ノ塚駅周辺 【子育てサロン竹の塚の移転を検討】	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、保健センターの休日診療所スペースで実施しているため、竹ノ塚駅の高架化に伴い、駅構内等への移転を検討する。 ・移転後は、駅近で人出が多くなることが見込まれるので、商業施設等内の子育てサロンの機能を持たせていく。

(イ) 単独型子育てサロンの整備計画

設置場所	備考
総合スポーツセンター内 【現存・子育てサロン東保木間】	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺に単独型子育てサロンや専用室のある児童館子育てサロンが充実している。 ・子育てサロン西新井については、土・日曜日は広範囲からの利用や新規利用者も多いため、商業施設等内の子育てサロンの機能も果たしている。 ・本地域の乳幼児人口の推移によっては、単独型子育てサロンの縮小も検討していく。
ギャラクシティ内 【現存・子育てサロン西新井】	
ゆうあいの郷六月内 【現存・子育てサロン六月】	

(5) 江北・鹿浜・舎人地域(提供区域5)

ア 平成30年度の施設数と利用実績

(江北・鹿浜・舎人地域)		施設数	延べ利用人数
子育てサロン		14か所	65,592人回/年
内訳	単独型	2か所	6,597人回/年
	児童館	12か所	58,995人回/年

イ 今後の整備計画

(江北・鹿浜・舎人地域)		令和2年の施設数	整備後の施設数
子育てサロン		14か所	14か所(±0)
内訳	商業施設等内	-	-(±0)
	単独型	2か所	2か所(±0)
	児童館	12か所	12か所(±0)

(ア) 単独型子育てサロンの整備計画

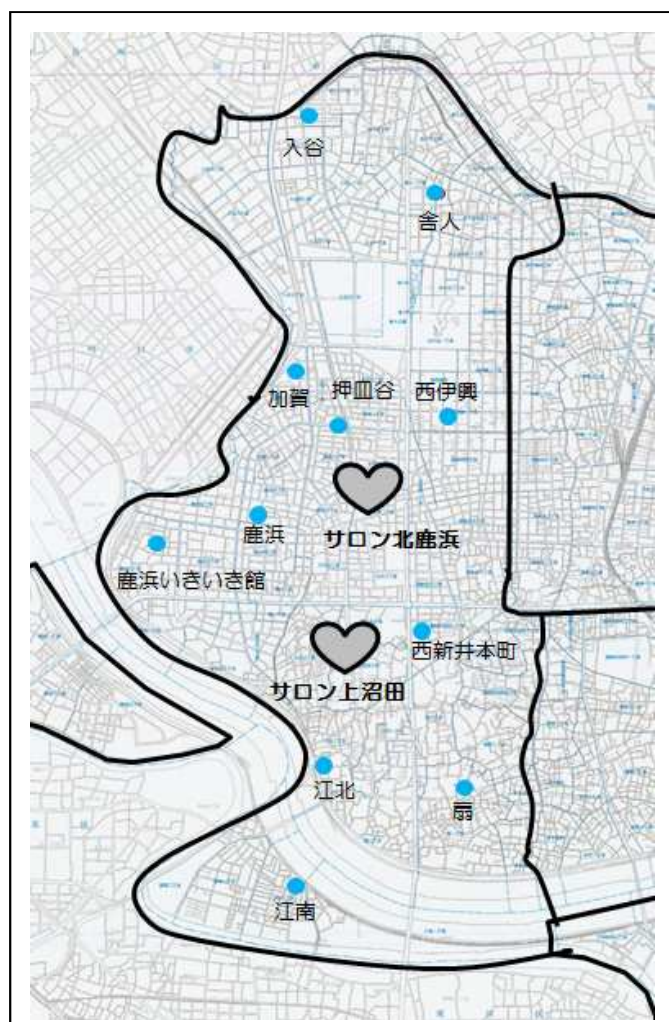
設置場所	備考
鹿浜地域 【現存・子育てサロン北鹿浜】	・学校内の子育てサロンは、乳幼児を抱える親にとっては、校門のセキュリティや、子育てサロン室へのアプローチの点からも敷居が高い。学校外に移転を検討していく。
(仮称)江北健康づくりセンター内 【移転予定・子育てサロン上沼田】	・上沼田保育園内にある子育てサロン上沼田を、(仮称)江北健康づくりセンター内に移転し、「単独」の役割である父親等の育児参加を促進するため、土・日曜日も開室する(令和4年度の年度中整備に反映)。

<参考 / 第2期足立区子ども・子育て支援事業計画>

単位：人回/年

(江北・鹿浜・舎人地域)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
子育てサロン数	14	14	14	14	14
量の見込み(A)	41,412	40,114	39,179	38,206	37,596
確保方策(年度当初定員)(B)	73,367	73,367	73,367	79,749	79,749
過不足(C) = (B) - (A)	31,955	33,253	34,188	41,543	42,153
(江北・鹿浜・舎人地域)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
年度中整備	0	0	6,382	0	0

<配置計画図>



- ♡ は、単独型子育てサロン
- は、児童館子育てサロン

(6) 新田地域(提供区域6)

ア 平成30年度の施設数と利用実績

(新田地域)		施設数	延べ利用人数
子育てサロン		2か所	9,268人回/年
内訳	単 独 型	1か所	4,997人回/年
	児 童 館	1か所	4,271人回/年

イ 今後の整備計画

(新田地域)		令和2年の施設数	整備後の施設数
子育てサロン		3か所	3か所(±0)
内訳	商業施設等内	-	-(±0)
	単 独 型	2か所	2か所(±0)
	児 童 館	1か所	1か所(±0)

単独型については、令和元年度に整備(令和2年4月開設)した1か所を含む。

(ア) 単独型子育てサロンの整備計画

設置場所	備考
新田西地区(新田保育園) 【現存・子育てサロン新田】 新田東地区 【新設・子育てサロンハー トアイランド新田】	・ニーズ調査により、定員の不足状態が明らかなため、相談機能が充実した単独型子育てサロンを新田東地区に増設する(令和2年4月開設)。 ・本地域の乳幼児の人口動態によっては、単独型子育てサロンの継続の要否を検討していく。

<参考 / 第2期足立区子ども・子育て支援事業計画>

単位：人回/年

(新田地域)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
子育てサロン数	3	3	3	3	3
量の見込み(A)	13,546	13,243	13,032	12,851	12,762
確保方策(年度当初定員)(B)	28,794	28,794	28,794	28,794	28,794
過不足(C) = (B) - (A)	15,248	15,551	15,762	15,943	16,032

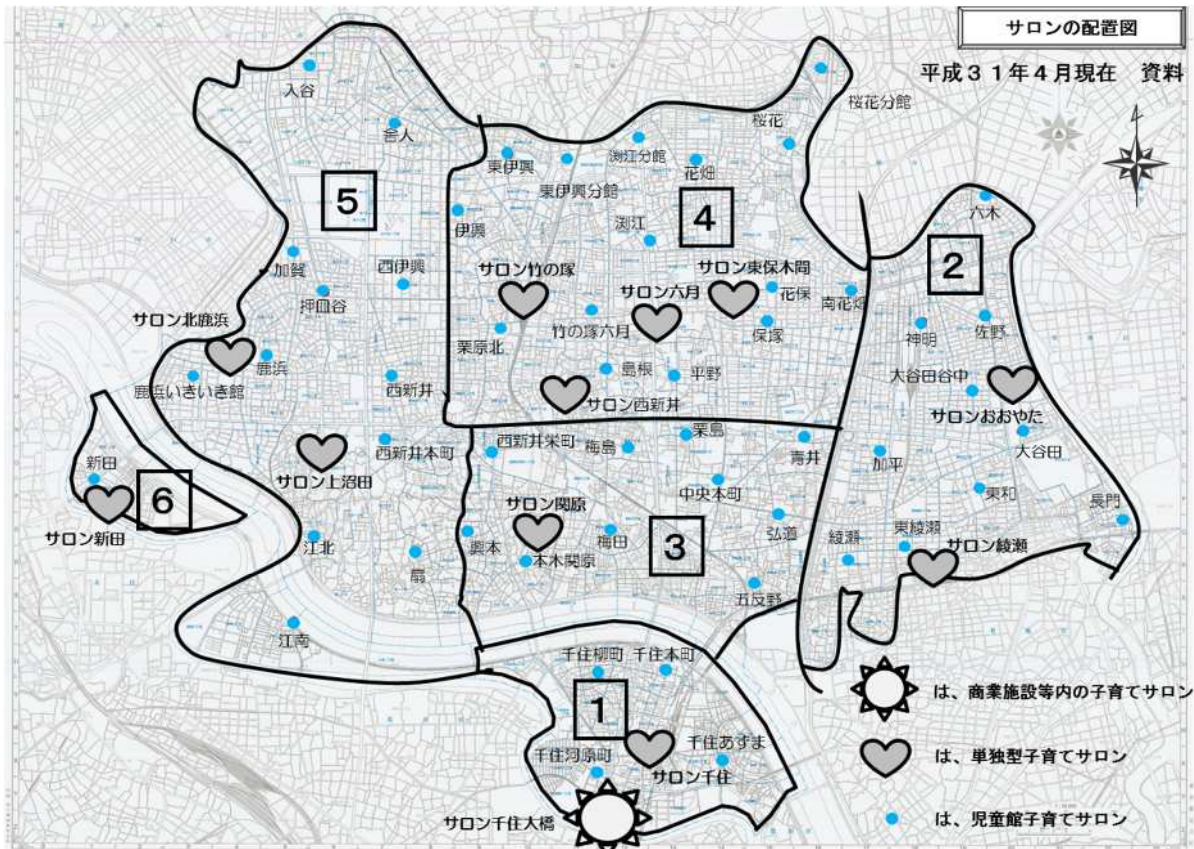
<配置計画図>



♡ は、単独型子育てサロン

● は、児童館子育てサロン

【現在の子育てサロン配置図】



【今後の子育てサロンの配置計画図】

